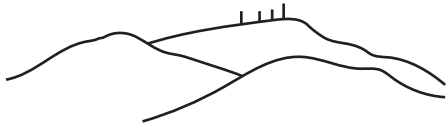


Youth Manna

2021/3/8 - 3/14



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/3/8(月)

民数記 34 章

神様はイスラエルに約束の地の境界線を示されました。今週のキッズマナが裏面にあるので、地図で確認してみよう！

神様が相続地の境界線を示したのは何のためだろうか？それは、相続地を神様からのものとして感謝して受け取るためであり、イスラエルがその地で神の民として生きるためです。

僕らにも与えられた境界線があるね。それは家族や友達といった人間関係だったり、場所だったり、賜物や才能だったり、様々です。自分の欲望によって与えられているものに不満を持つ生き方ではなく、感謝する心を持とう！それらを用いて神様の栄光を表し、祝福を流す者となろう！

みんなが神様から与えられているものは何だろう？それを喜び受け入れ、神様の栄光のために用いていくことができるように祈ろう！！

2021/3/9(火)

民数記 35:1-15

神様はレビ人に居住地として放牧地つきの48の町を与えました。またそのうち6つの町は誤って人を殺した者が復讐者から逃れ、正式な裁判を受ける町としました。レビ人は相続地を持たないので、相続地を持つ部族の主への献げ物によって生きることができます。レビ人が神様のものとして神との契約通りに生き、その町々で生かされているのを見て、レビ人も周りの人達もイスラエルに対する神様の守り、愛、恵、を見ることができました。

主への献げ物によって生きる奉仕者、牧師先生や教会で働いている方々を見て、私達は神様の守りや愛を感じられているだろうか？神様が全体を組み合わせて、私達を養い神様のご計画を成して下さることを感謝しよう！！

2021/3/10(水)

民数記 35:16-34

国が正しく機能するためには、正しい裁きが必要である。主はまず、故意に人を殺した場合、その人は必ず殺されなければならない、復讐者も彼を殺しても良いとされた。この原則はすでに創世記9章5-6節で語られている。次に、故意なく人を殺してしまった場合、会衆が主の定めによってその人を裁く。さらに殺人者は大祭司が死ぬまで逃れの街にいて、その後自分の街に帰ることができる。これは、大祭司の血によってその人が贖われるためと考えられる。このように、主はご自身がおられる地をきよく平和に保つことを求めておられる。

神の御霊が私たちのうちに住んでおられる。私たちの心を平和に保ち続けることができるよう祈ろう。

2021/3/11(木)

民数記 36 章

今日で民数記が終わります。

今日は箇所では土地相続の例外、女性相続者の場合が取り上げられている。それは、父の部族に属する氏族に嫁がなければならないというものであった。土地の権利をもった娘たちが他の部族の男性と結婚した場合、他の部族のものとなり、神による土地の割り当てに乱れが生じてしまうからである。

これは神様からの約束の土地を永遠に自分のものとして守るようということである。

神様は約束を守られる、私たちもそこにしっかりと応答していく必要がある。主に応答する歩みを大事にしよう！

財布の日

2021/3/12(金)

アモス 1 章

▶アモス書は見つかったかな？迷わず開けたらすごい！旧約の1559ページだね！

▶農業をしていたアモスは、神様によって預言者に任命された(7:15)。アモスは神様のことばの大切さを知る人だった。主の叫びには植物を枯らすかのような力があると、アモスは語っている(2)。

▶罪とさばきに関する主の言葉が2章まで続く。最初は、ユダとイスラエル周辺にある国や民族に対してだ。それぞれの罪が具体的に書かれているけど、神の民に対する罪という点は同じだね。気をつけたいのは、神の民が人として特別だったという訳ではなく、神の民を軽く見ることは神様を軽くみることと一緒にということ(9:7)。主は全世界の神だ。

▶私たちは、みことばの大切さを知っているだろうか。1コリント1:18を読もう！

2021/3/13(土)

アモス 2 章

神様の裁きの宣告がされているね。モアブに対する宣告、ユダに対する宣告、イスラエルに対する宣告…その罪は読んでも分かる通りいろんなところにつながっている。神様は罪をてきとうに妥協せず、しっかりと裁きという結果を与えられるお方だね。けどもちろん、神様は今までに人々に助けを与え、めぐみを与え、悔い改めるチャンスも与えてくださっていた。

ただ人々が、神様がそうしてくださった恵みを忘れてしまって、罪を重ね続けてしまったんだ。

詩篇103篇1-5節を読もう！「主のよくして下さったことを何一つ忘れるな」と受け取り、主の恵みを思い出す時間を作っていこう！

2021/3/14(日)

アモス 3 章

今日の箇所では、都市サマリアに住む支配層に対するさばきの預言のことが書いてあります。

神様は反逆するイスラエルに、なおもアモスを通して呼びかけられます。ですがアモスを通しての神様の呼びかけにイスラエルは応答しようともせず、その預言を神様からのものと見なさなかったようです。そこでアモスは、人々になじみのある事を挙げながらイスラエルの民に応じました(3-8)。当時のイスラエルの混乱ぶりは敵国の目(9)にさえも明らかでした。そのひどい罪のゆえにイスラエルは敵の略奪に遭い、わずかな者が残されるだけとなります。

私たちは目に見えるところに惑わされず、みことばによって、置かれた時代を正しくみることができるように。その時代にふさわしく、みことばを宣べ伝えられるようにお祈りしよう！